

### 南部発達センター部

## 西館オープンに早期療育の希望をのせて

南部地域療育センターがスタートしてから十九年が経ちました。発達センターあつたは十二年が経ちました。児童発達支援センターでは、二歳児の入園が課題になり、そよ風通園部は四十三名、発達センターあつたは三十七名の子もたちが、定員を超えて通園しています。慢性的な通園の待機児の問題は保育園の待機児のようにクローズアップされて来ませんでした。名古屋の早期療育積年の課題であり、三歳児が入園できない可能性すらあつたのです。



ここで、ビックニュースです。四月、南部地域療育センターそよ風の通園部の定員が四十人から五十人に増えます！社会館が進める「西館」に保育室を設置しての定員拡大です。わずかに十名の定員増でも、そよ風通園部と発達センターあつたの待機児が大幅に解消します。ひよっとすると待機児ゼロが実現するかもしれない大きな期待とともに四月の西館オープンに向かいます。

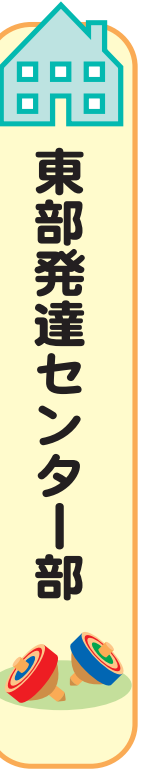
近年の特徴は、一歳児でそよ風に来所する子どもが増えていることです。初診は残念ながら長く待たないと受診できない状況です。しかし、療育グループは、受付時点から開始することで一歳児からの早期対応を

実現しています。これは、保健所や保育園等、そよ風を紹介して下さる地域の関連機関の努力も見逃せません。取りくまれる遊びはもろろんですが、早期から相談対応があることでお母さんの育児ストレスの軽減につながり、子どもの健やかな育ちに結び付きます。このような場が、療育センターのただでなく、地域でおこなわれている子育て支援のとりくみの中にもできていくと、育ちに不安がある子の支援がぐっと広がるとも考えます。

発達相談、診療、リハビリテーション、児童発達支援事業、障がい児相談支援事業、保育園・幼稚園への巡回療育など、多くの事業と共に、今年も障がいを持つ子どもたちが地域で安心して暮らすことができ、適切な配慮を得て、すくすく育つ地域づくりを進めていこうと思えます。

- 南部発達センター部
- 南部地域療育センターそよ風 愛育診療所
- デイサービスACCT
- デイサービスみどりそよ風
- 障害児相談支援事業所そよ風
- 発達センターあつた
- デイサービスあつた

責任者：所長 堀江重信  
下妻幸美（センター長）、渋谷文平  
佐藤明裕、金武勝己、安藤典明、矢形進



### 東部発達センター部

## 子どもたちの発達を守るための制度に

東部発達センター部では、千種区に「東部地域療育センターほけつと」（以下ほけつと）を昨年六月に開所以来、守山区にある「発達センターちよだ」（以下ちよだ）と共に力をあわせ、名古屋市東部方面の早期療育、発達支援をすすめています。当法人では「ほけつと」と「ちよだ」を含め四つの児童発達支援センターを運営しています。その運営は国からの給付費と名古屋市補助金で運営されています。国の給付費は、子どもの出席数で決まります。従来は、その不足分が名古屋市の補助金で補われていました。しかし名古屋市は昨年、国の給付費を子どもの出席率を八十二％と固定し、その不足分への補助という形に変更しました。障がいがある子どもたちにとって、特に重い障がいのある子どもたちが八十二％出席することは、とても大変です。体調に配慮しながらその子のペースに応じた登園保障が必要です。登園できない時は訪問療育もします。子どもはなかなか登園できなくても、保護者同士は同じ通園に通っているという気持ちでつながりあえます。このように時間をかけて育ちを支援していくことが大切です。昨年度の制度の変更は、しつかり通えない子は不採算とな

り、切り捨てられていくような改悪といえるものです。障がいの重い子どもたちこそ大切にされるべきです。地域療育センター内にある診療所の人件費はすべて名古屋市の補助金で賄われます。東部エリアは名古屋市の子ども人口の二十四％強が集中しています。関係機関と連携しながら事業を進める中で、発達相談や訓練等を希望する子どもの予約が三か月待ちとなり、通園部への入所も待機児がいる状況です。これからもこれらのニーズに応える働きを進めたいと思います。しかし、生み出された診療報酬や、障害児療育等支援事業の報酬は、名古屋市の人件費の補てん分に充てられます。多くの人が心が安んじ、気軽に相談でき、利用しやすいセンターになりたいと思います。そのためにも、人員を増やし、独自に取り組んでいる事業を補助してもらえよう名古屋市に訴えていきたいと思えます。今回の問題については、広く市民の方に理解してもらい、子どもたちの発達を守るための制度に変えていく運動を展開したいと思えます。ご理解とご支援をお願いいたします。

副所長 加藤 淳

東部発達センター部

- 東部地域療育センターほけつと
- あいの風診療所
- 障害児相談支援事業所ちよだ
- 発達センターちよだ
- デイサービスちよだ

責任者：所長 荒川とよ子  
加藤淳（センター長）  
松澤裕美子、福武馨  
小原貴史



### 支援センター部

## 障がいの重い人たちの地域生活を考える一年に

二〇一五年度、支援センター部では、将来計画構想を検討してきました。現在建設が進んでいる西館の隣の土地に、障がいの重い人たちが暮らすグループホームやショートステイ事業所などを開設する計画のほか、障がいの重い人たちが地域で安心して暮らすために必要な支援を、計画の中に盛り込んでいきたいと思います。

支援センター部で関わる人たちが、年齢を重ねてきています。同時に両親も年齢を重ねていきます。自宅での日々の生活を送ることが難しくなってきたケースもあります。

「親亡き後」ということを見据えたグループホームのような居住支援のための機能の整備が、早急に解決しなくてはならない課題になっていきます。

まだ若い方たちでも、将来への不安は抱えています。すぐにグループホームではなくても、本人たちが少しずつでも家族と離れた生活を体験したいと考えています。こうした体験ができる、ショートステイを利用したいというニーズは高くなっています。ショートステイの利用を通じて、仲間たちが自立したいという要

求も高まっています。また、障がいの重い人たちが、その家族の高齢化が進む中で、緊急一時的な支援の必要性も大きくなっています。家族の急な入院などで、その日の生活にも困ってしまうようなこともあります。こうした時にもすぐに対応できる支援も考えていかなくてはなりません。

障がいの重い人たちが地域で安心して暮らしている支援を目指して、支援センター部が果たすべき役割を検討しながら、二〇一八年の西館二号館の開設に向かっていきたいと思います。

本人やご家族の皆さん、関係団体とも力を合わせて、障がいの重い人たちの地域生活を実現できるように、スタッフ一同、力を尽くしてまいります。

本年も、ご理解とご協力をどうぞよろしくお願いいたします。

（ヘルパーステーションびぽつと 所長 神谷 友之）

- 支援センター部
- 活動センターねーぶる
  - ヘルパーステーションびぽつと
  - ショートステイびぽつと
  - びぽつと相談支援事業所
  - ホーム社会館（のどか・うらら・天歩・しゃいかい・いっぽ）
  - 社会館障害者基幹相談支援センター
- 責任者：谷川修（センター長）  
江尻寛、神谷友之、木下敬成



◆西館オープン記念◆ 福尾野歩 うたってあそんでファミリーコンサート

開催日 2016年4月23日(土)
開場時間 16:30 開演 17:00
開催場所 豊明市文化会館 豊明市西川町広原 28-1
お問い合わせ 南部地域療育センターそよ風 TEL (612-3433) 担当:水野

Table with 2 columns: 指定席, 自由席. Rows include general seating prices (3,000 yen, 2,500 yen) and child/student discounts.

☆広がる輪 笑顔の笑(わ) みんなで楽しく☆ 社会館バザー2015のお礼

大成功!! 目標額達成 1,221,605円

11月23日(祝)に行われた社会館バザー。当日は、実行委員はじめ皆様の思いが通じ、雨に降られることなく無事開催することができました。中央舞台は、歌あり、ダンスあり、大道芸あり、多彩な皆さんによる華やかな舞台となりました。出演者の皆さんありがとうございました。収益は、2016年4月にオープンする西館建設資金とユニセフの寄付に充てさせていただきます。また集めたエコキャップは、86,000個。再生プラスチック原料として換金し、医療支援・ワクチン支援など様々な社会貢献活動に充てられます。テーマにあるように、広がる輪、笑顔の笑(わ)でたくさんの方々に応援をいただきました。ご協力ありがとうございました。

【献品等提供くださった方々】 聖マタイ教会、日本イエス・キリスト教団(名古屋教会)、日本キリスト教団(名古屋中央教会、北教会、金城教会)、喫茶モア、南山幼稚園、希望ヶ丘保育園、田原青果、玉屋、浅井米穀店、いろは、権安、みのり美容室、地域や社会館に関わるたくさんの方々 (社会館バザー事務局)

めぐりあいサロン・ふるさと祭り いも煮会2015が開催されました

名古屋錦ロータリークラブの石井会長のご尽力で、名古屋地区のロータリークラブの協賛を得て「めぐりあいサロン」を新たに立ち上げることとなり、その開所式・1回目のサロンが9月20日(日)に「発達センターあつた」で開かれました。来年6月まで6回のサロンが計画、参加者が楽しめるような参加型のプログラムが用意されています。

また、3回目となる「ふるさと祭りいも煮会2015」も11月8日(日)に同じ「発達センターあつた」で開催されました。あいにくの雨模様でしたが、参加者は東北地方の秋の味覚である「いも煮」を堪能していました。県外避難者の方も震災から5年目を迎え、それぞれの生活も少しずつ変化してきたのか、参加者が減りました。創意工夫が求められているようです。(O・T)

ケニアマサイ村の ジャクソンさんの 講演会開かれる

10月22日(木) 午後「東部地域療育センターぽけっと」でケニアマサイ村のジャクソンさんを招いての講演会が開催されました。昔ながらの牧畜の生活様式を今も守っているアフリカケニアのマサイ村。ジャクソンさんは日本各地をまわって講演、近代化の波で昔ながらの生活様式が脅かされているマサイ村の実情などについてお話されました。「ぽけっと」に通う子どもたちの保護者ら40名近くの皆さんが貴重なお話に熱心に聞き入っていました。(法人事務局)

お知らせ

名古屋キリスト教社会館2015年度 役員・幹部職員研修会

日時 2016年1月25日(月) 18時15分～
会場 ウィンクあいち903号室
テーマ 「社会福祉法人改革のねらいと福祉施設経営者の課題」
講師 平野方紹氏(立教大学コミュニティ福祉学部教授)

第20回全国地域福祉施設研修会

日時 2016年2月27日(土) 午後1時～28日(日) 正午
会場 東京墨田区ファッションセンター
テーマ 「セツルメントからはじまる地域福祉」

第3回東日本大震災犠牲者追悼式

日時 2016年3月11日(金) 午後～夕方
会場 栄久屋大通り公園

※ 社会館も、実行委員会の構成団体です。

いずれも 問い合わせは 法人事務局まで (052-612-3370)

お礼

発達センターちよだは、PSM(パチンコセーフティマイトタウン) 協力会様よりあいちパチンコセーフティマイトタウン支援金として、熱中症対策のための簡易テント2張り購入のための助成金を頂きました。行事や日常保育において活用させていただきます。ありがとうございます。 発達センターちよだ

アサヒワンビールクラブ様より 10万円の寄付をいただきました。巧技台用のすべり台を購入することができました。ありがとうございました。 東部地域療育センターぽけっと

献金・協賛報告

ご協力頂いております方々のご芳名を掲載し、報告とお礼とさせていただきます。(敬称略・順不同)

- 石橋満、磯貝勝則、加藤考、一鳥井一夫、(東日本大震災支援活動のため) 瀧川裕康、杉江幸茂、真木芳子、村田登代子、植木信一、鶴田吉和、中澤洋、大岡孝司、羽木良子、田畑洋子、大西寿次、大西良子、杉浦ミドリ

- 昌子・玉川学、丹波雅弘、勅使千鶴、土屋圭吾、鶴田吉和、手嶋義勝、寺田仁計、戸矢康弘、永池和美、仲田忠夫、中村紀子、西尾知己、西尾道代、西川智、ねいぶる募金、則武武志、則武孝子、羽木良子、びぼとと、奥平ハウス、二〇一五募金、平井妙子、蛭谷淳一、廣井美奈子、廣瀬完、福武馨、藤田博美、堀池育志、前田勝彦、前田セツ、前本百合子、真木芳子、正木尚代、松尾清美、松下千代子、松田ササ子、松山良、水野香織、宮本真里、三善陽友、宗像柚重、村松たづ子、森悠紀子、藪勝也、藪高里、藪百合子、山内悠平、山口義一、山口美千代、山田方子、吉岡由紀、吉田みどり、吉田幸雄、脇田雅子、湧井規子、渡邊きみ子、渡邊さき子

(期間:十月十九日~十二月十四日)

田中理事就任のお知らせ 故野村 潔理事の後任として 田中 誠(名古屋聖マタイ教会主任司祭)氏が 就任されました。(任期は、二〇一五年十一月二十六日~二〇一七年三月三十一日)

白菜と豚肉のみぞれ煮 料理教室 【材料(4人分)】 白菜...1/4個、人参...半分、大葉...4枚、大根...1/3本、しいたけ...6枚、豚うす切り肉...200g

イエスター早天礼拝 日 三月二十七日(日) 午前七時 場所 名古屋中央教会(栄) 説教者 日本キリスト教団名古屋教会 早乙女哲司 牧師 ※当日の献金使途:「東北へルプ」活動支援

苦情申し出の窓口 苦情の申し出窓口は、各事業所掲示板等に掲示しています。苦情受付者は主任、解決者は事業所長が基本です。 法人への苦情は、本部事務局 612-3370 へお願いします。 また、法人職員ではなく、第三者の立場として苦情を受け、より良い解決へと導く立場の者として、第三者委員を選任しています。 第三者委員は、仲田 伸輝 821-0570 小林 冴子 611-0401 湯浅 登 0562-83-4407

編集後記 二〇一六年が始まった。二〇一五年の流行語大賞は、個人的には「安倍政治を許さない!」だった。社会的にも政治的にも、そして福祉情勢も厳しい事ばかりである。しかしそんな時こそ、気持ちを明るく前向きにしたい。四月には西館一号館がオープンする。笑顔あふれる多世代交流西館のキャッチフレーズの言葉通り、笑顔いっぱいになるよう、共に働く多くの仲間、利用者、地域の方々を力(AS)をあげたい。

平和川柳とおすすのスボットはお休みしました